



インタビュー (社) 日本建築ブロック・エクステリア工事業協会 (jabec)  
静岡県本部長 玉井 道夫氏

## 協会の地位向上により 明るい業界の将来を展望する

玉井 道夫氏

静岡サントクハウス株式会社 社長

昭和34年 早稲田大学商学部卒 旭コンクリート工業(株)入社

昭和49年 静岡サントクハウス(株)設立 現在に至る

■昭和55年 静岡エクステリア事業協同組合設立を経て静岡県エクステリア建設業協会設立等 業界発展に貢献 jabec 中央本部広報委員長 静岡県本部長  
趣味は謡曲(宝生流師範)・釣り・ゴルフ



平成7年6月、日本エクステリア建設業協会と日本ブロック工事業組合が合併して(社)日本建築ブロック・エクステリア工事業協会がつくられ、新たな社団法人として活動が開始されました。そして、建設省で、これまで単なる雑工事として扱われてきたエクステリアが、建設工事の一つの関連工事として正式に認知されることとなりました。これは業界にとって画期的で大きな躍進となるものです。

### ブロック塀診断士の活動に 業界の活路を見出だす

地震多発地域である静岡県が災害防止に格別の力を注いできたことは周知のことです。その静岡市で、阪神大震災後あらためて市内のブロック塀16000カ所を調査したところ、その内容に8000カ所で転倒の危険があることが判明しました。丁度そのころです。建設省が当協会のことを全国の各行政関係部署に通知され、それを受けた静岡県から早速、当協会静岡県本部に相談依頼があったのです。それは、既存のブロック塀の危険度判定に関する内容でした。具体的には既存の塀を見直し危険度の診断をして、危険とみなされるブロック塀については、改修するなり、撤去するなり、いずれかの方向へ持っていけるような制度を、この際確立したいというものでした。

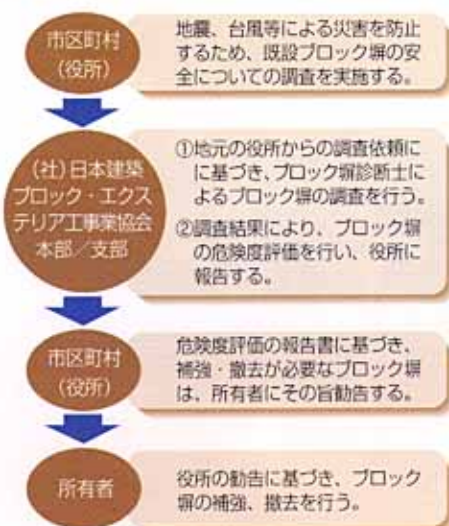
その意をうけた協会中央本部では、従来のブロック工事士とエクステリアプラ

ンナーの二つの資格に加えて、一年の準備期間を経て「ブロック塀診断士」資格を新しくつくり、専門家の統一された見解のもとに塀の診断を行うこととしました。この制度が発足して半年足らずで、全国に400人以上の診断士が続々誕生し、既に多数の診断を実施しています。

### 静岡県全域で「ブロック塀等耐震改修事業費補助金交付制度」がスタート!

地震多発の静岡県、また診断士制度発足のそもそものいきさつもあって、静岡県では全国に先駆けてこの補助金交付制度が県内の主要都市で早々に制定されました。

#### ●ブロック塀診断…調査から補強までの流れ



それに触発されてでしょうか?茨城県土浦市市議会で「ブロック塀対策」が熱心

に議論されたと聞きます。こうした動きが一日も早く全国に広がって行くことを強く望みたい…そうしてより多くの人たちや行政が「ブロック塀」を見直すようになれば、ブロック塀診断士の必要性が高まり、活躍の場が増え、エクステリア業界としても、リフォームの一環として新しい分野の事業が開けてきますからね…。

### ランドスケープ業界への成長を目指して

「エクステリア」が専門職・専門業界として世に広く認識され、オフィシャルな立場で行政との信頼関係が深まれば、近い将来には環境整備や公園づくりや街づくり等、公共工事の依頼がダイレクトに来ると確信します。そして販工店さん同士でJ.V.を組み、それぞれ専門集団ならではの景観づくりをする!これが私が描く理想のシナリオです。

そのためにも今後はますます同じ志を持った会員の増強が課題となります。これを機に全国の販工店さんにも積極的に加入してもらいたいですね。

これからの当協会の活動として注目して欲しいのは、エクステリア関連の専門誌の出版とホームページの開設です。特にエクステリア関連の専門誌では、施工者側からの視点をふんだんに取り入れた、これまでにはないものにしていきたいと考えています。

ますます未来を見つめていかなければいけませんね。協会のマークのように…。



協会マーク  
「未来を見つめる目」

## INDEX

- インタビュー/jabec静岡県本部長 玉井 道夫氏 -1
- 設計ノート/有限会社 いのうえ商事 -2
- 設計ノート/株式会社 ウエシン -3
- 設計ノート/グリーンライフ産業株式会社 -4
- '99年春 新商品ダイジェスト -5
- 御庭会通信 -表4